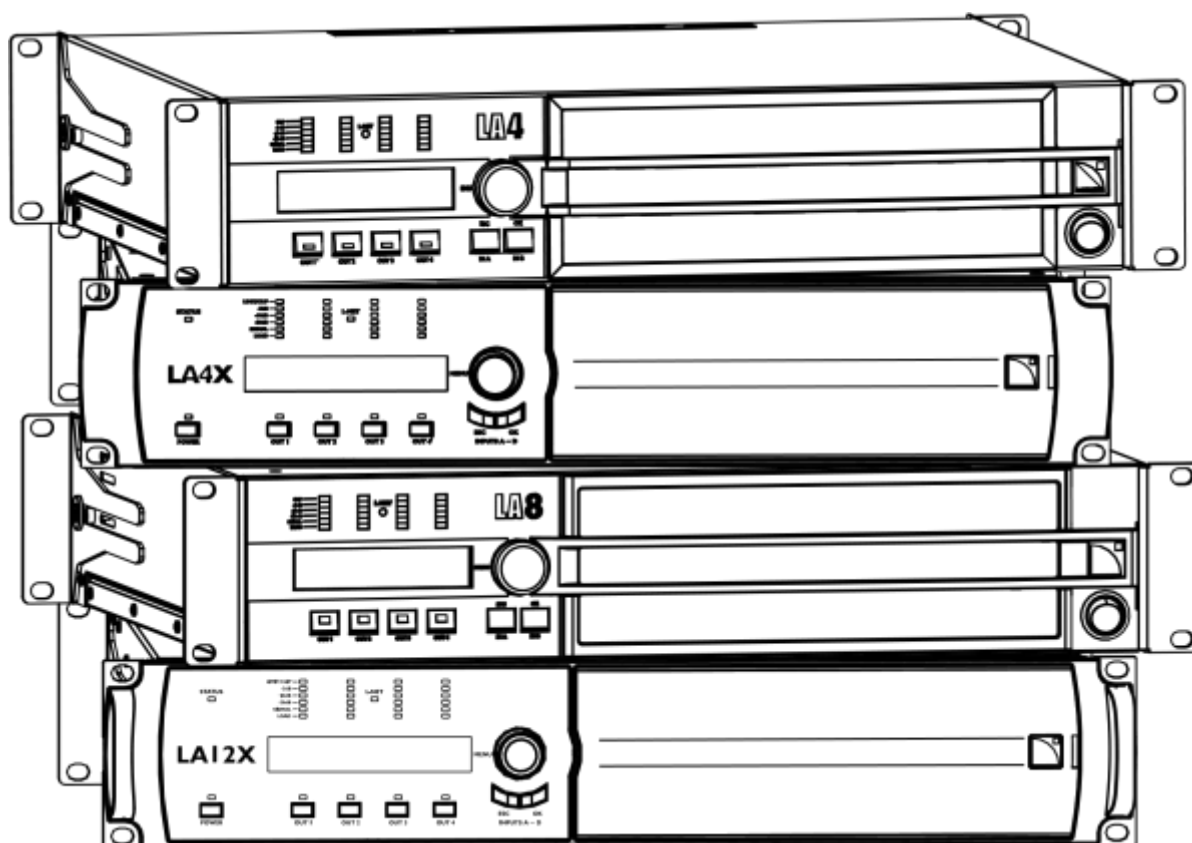


プリセットガイド



オーナーズマニュアル（日本語）



Document reference: Preset libraries preset guide (EN) version 13.1

Distribution date: December 3, 2019

© 2019 L-Acoustics. All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means without the express written consent of the publisher.

目次

始めに	5
プリセット デザイン.....	5
ゲインストラクチャー	5
エレクトロ-アコースティック カップリング.....	6
周波数レスポンスコンター.....	6
オンボードプリセットライブラリー.....	7
LA4 プリセットライブラリー	7
LA4X プリセットライブラリー.....	11
LA8 プリセットライブラリー	15
LA12X プリセットライブラリー.....	22
フラットプリセット.....	26
可変曲率 WST システム プリセット.....	27
K1.....	27
K2.....	29
Kara	31
Kiva II	32
Kiva SB15m	33
Kiva Kilo	34
Kudo	36
V-DOSC	37
dV-DOSC	38
定曲率 WST システム プリセット.....	40
ARCS Wide / ARCS Focus	40
A10 Wide/Focus	41
A15 Wide/Focus	42
ARCS II	43
ARCS.....	44
コリニアソースシステム プリセット	45
Syva.....	45
同軸スピーカーエンクロージャー プリセット.....	47
X4i.....	47
5XT	48
X8.....	49
X12.....	50
X15 HiQ.....	51
8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP.....	52
12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA.....	53
サブウーハーエンクロージャー プリセット.....	54

プリアライメントディレイ値	57
可変曲率 WST システム	58
定曲率 WST システム	68
コリニアシステム	71
同軸スピーカーエンクロージャー	71
負荷インピーダンス	77
アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力	78
LA4 のエンクロージャードライブ能力	80

始めに

L-acoustics アンブリファイドコントローラーにはオンボードファームウェアとプリセットライブラリーが提供されます。

オンボードライブラリー上のプリセットは、アンブリファイドコントローラーのフロントパネル、または LA NETWORK MANAGER からロードします。(LA NETWORK MANAGER は L-acoustics アンブリファイドコントローラーをネットワークからリモートコントロール・モニタリング可能な専用マネージメントツール・ソフトウェアアプリケーションです。)

L-acoustics アンブリファイドコントローラーのファームウェアアップデートは LA NETWORK MANAGER が必須です。最新のプリセットライブラリーはファームウェアとともに自動でインストールされます。ライブラリー、ファームウェア、ソフトウェアの最新版は L-acoustics のウェブサイトをご確認ください。



L-acoustics アンブリファイドコントローラーの操作

LA4、LA4X、LA8、LA12X、LA-RAK、LA-RAK II のユーザーマニュアルを参照してください。

LA Network Manager ソフトウェアのインストール

LA アンブリファイドコントローラーリリースパックをダウンロードし、リードミーファイルを参照してください。

L-acoustics アンブリファイドコントローラーのファームウェアアップデート

ソフトウェアに内包されている LA Network Manager ビデオチュートリアルを参照してください。

本書は LA4、LA4X、LA8、LA12X のプリセットライブラリーバージョン 6.3(.2)について説明します。

プリセット デザイン

ゲインストラクチャー

L-acoustics のすべてのファクトリープリセットのゲインは、音楽信号に類似したピンクノイズを基準信号としてキャリブレートされています。基準入力レベルはアナログ信号で **0 dBu**、デジタル信号で **-22 dBfs** です。

このレベルの信号を L-acoustics アンブリファイドコントローラーに入力すると、L-acoustics スピーカーエンクロージャーは 8 dB のヘッドルームをサウンドエンジニアに提供します。例外として小型スピーカーは 4 dB のヘッドルームにキャリブレートされています。(MTD108a、5XT、X8、8XT、KIVA、KILO)

このゲインストラクチャーにより、同じフォーマット（現場）で様々なタイプのエンクロージャーを使用するケースで L-acoustics システムのパワーリソース管理が容易になります。デフォルトの出力ゲイン設定 (0 dB) であれば、すべてのエンクロージャーが同じプログラムレベルでリミットをむかえます。小型フォーマットのエンクロージャーを大型フォーマットのエンクロージャーと一緒に使うケースでは、小型フォーマットエンクロージャーに -4 dB のゲイン調整を適用します。



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである [SB15_100] と [SB15_100_C] のヘッドルームは、プリセットライブラリー 5.6(.5) から 8 dB に変更しました。ハイブリットプリセット [KIVA_SB15]、または以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新した場合、同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

エレクトロ-アコースティック カップリング

推奨スピーカー構成に対して定められたプリセットを用いることにより、特定の放射パターンを持つコヒレントな音源となります。

L-acoustics ファクトリープリセットは、アクティブエンクロージャーの内部や、様々なスピーカーエンクロージャーを組み合わせた際に存在する「異なるトランスデューサーセクション間のカップリング」を確実にします。

既定のチャンネルセットに対して、ファクトリー設定上のプリセットパラメーターをユーザーが調整できます。

いくつかの特定のスピーカー構成用のプリセットと、アクティブスピーカーのプリセットに対してチャンネルセットを定めています。適切な出力チャンネルの組み合わせに対してルーティング、ゲイン、ディレイのパラメーターをリンクすることでコヒレントなカップリングが維持されます。例えば、[LF HF]は2ウェイエンクロージャー用プリセットのチャンネルセットです。また、[SR SB SB SB]はカーディオイドサブウーハー用プリセットのチャンネルセットです。

本書はL-acoustics プロダクトファミリーを区分し、システムごとの推奨スピーカー構成と、適合するファクトリープリセット、得られる音響的な特性を一覧で示します。

サブウーハーの「近接」と「分離」に関する制限は、該当するシステムのユーザーマニュアルを参照してください。

いくつかのエンクロージャーを組み合わせるケースではタイムアライメントのためにディレイ値の調整が必要です。詳細は[ブリアライメントディレイ値](#)(p.57)のセクションを確認してください。

周波数レスポンスコンター

同軸スピーカーエンクロージャーであるXシリーズには2つの異なるコンターがあります。

- 標準プリセット：ステージモニターを除くすべてのアプリケーション向け。
- MO プリセット：ステージモニターアプリケーション向け。

旧タイプの同軸スピーカーエンクロージャー（XT、MTD シリーズ）には3つの異なるコンターがあります。

- FR プリセット：一般的な FOH アプリケーション向け
- FI プリセット：フィルシステム、ジャズ、クラシック音楽、スピーチ向け。
- MO プリセット：1/2 自遊空間（スピーカーをフロア置くことを想定）におけるモニターアプリケーション向け。

現行のWST システムには1つまたは2つの異なるコンターがあります。

- メインのプリセット：一般的な配列のラインソースにおいて基準的な FOH コンター
- FI プリセット：当該スピーカーエンクロージャーをフィルシステムで使用する際に適したコンター（一部のシステムのみ）

従来のWST システムは従来のプリセット構成を引き継いでいます。（_HI と _LO のプリセット）

ユーザーは必要に応じて LA NETWORK MANAGER のコンターEQ ツールでシステムの音色を調整できます。

WST システムのレスポンス調整には2種類のアレイモーフィングツール（ズームファクターとLF コンター）を用います。これにより基準聴取距離やラインソース長に関わらず、異なるソース（アレイ）の音色を統一させることができます。（聴取距離が近いイメージ・遠いイメージ）（ライン長が短いイメージ・長いイメージ）詳細はLA NETWORK MANAGER のビデオチュートリアルとアレイモーフィング解説書を参照してください。

オンボードプリセットライブラリー

オンボードプリセットライブラリーは、適応するアンプリファイドコントローラーのドライブ能力と L-acoustics スピーカーエンクロージャーが必要とするパワーのマッチングがとられています。

アンプリファイドコントローラーの最大出力

タイプ	負荷	8 Ω	4 Ω	2.7 Ω
LA12X		4 x 1400 W	4 x 2600 W	4 x 3300 W
LA8		4 x 1100 W	4 x 1800 W	
LA4X		4 x 1000 W		適応外
LA4		4 x 800 W	4 x 1000 W	適応外

1 kHz・全チャンネル駆動、CEA-2006 / 490A に基づく試験。

LA4 プリセットライブラリー

LA4 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 094 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4 プリセットライブラリー 6.3

KIVA

011	[KIVA]	KIVA、フルレンジ、フロントオブハウス
012	[KIVA_FI]	KIVA、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

013	[KIVA_SB15]	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KIVAKILO

014	[KIVA_KILO]	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

ARCS

015	[ARCS_LO]	ARCS、フルレンジ、LO コンター
016	[ARCS_LO_60]	ARCS、HPF = 60 Hz、LO コンター
017	[ARCS_LO_100]	ARCS、HPF = 100 Hz、LO コンター
018	[ARCS_HI]	ARCS、フルレンジ、HI コンター
019	[ARCS_HI_60]	ARCS、HPF = 60 Hz、HI コンター
020	[ARCS_HI_100]	ARCS、HPF = 100 Hz、HI コンター

ARCS_WF

021	[ARCS_WIFO]	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
022	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB18

023	[SB18_60]	SB18、LPF = 60 Hz
024	[SB18_100]	SB18、LPF = 100 Hz
025	[SB18_60_C]	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
026	[SB18_100_C]	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
027	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
028	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB118

029	[SB118_60]	SB118、LPF = 60 Hz
030	[SB118_100]	SB118、LPF = 100 Hz
031	[SB118_60_C]	SB118、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
032	[SB118_100_C]	SB118、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

033	[SB15_100]	SB15、LPF = 100 Hz
034	[SB15_100_C]	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
035	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KILO

036	[KILO]	KILO、LPF = 100 Hz
-----	--------	-------------------

SYVA_SUB

037	[SYVA SUB_200]	SYVA SUB、LPF = 200 Hz、[X4]プリセットに最適化
-----	----------------	-------------------------------------

12XTA

038	[12XTA_FI]	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
039	[12XTA_FI_100]	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
040	[12XTA_FR]	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
041	[12XTA_FR_100]	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
042	[12XTA_MO]	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
043	[12XTA_MO_100]	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

044	[12XTP_FI]	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
045	[12XTP_FI_100]	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
046	[12XTP_FR]	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
047	[12XTP_FR_100]	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
048	[12XTP_MO]	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
049	[12XTP_MO_100]	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

050	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
051	[8XT_FI_100]	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
052	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
053	[8XT_FR_100]	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
054	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
055	[8XT_MO_100]	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

056	[5XT]	5XT、フルレンジ
-----	-------	-----------

X4

057	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

115XT

058	[115XT_FI]	115XT、フルレンジ、フィル
059	[115XT_FI_100]	115XT、HPF = 100 Hz、フィル
060	[115XT_FR]	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
061	[115XT_FR_100]	115XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
062	[115XT_MO]	115XT、フルレンジ、モニター
063	[115XT_MO_100]	115XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bA

064	[115bA_FI]	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フィル
065	[115bA_FI_100]	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
066	[115bA_FR]	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
067	[115bA_FR_100]	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
068	[115bA_MO]	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、モニター
069	[115bA_MO_100]	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bP

070	[115bP_FI]	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フィル
071	[115bP_FI_100]	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
072	[115bP_FR]	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
073	[115bP_FR_100]	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
074	[115bP_MO]	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、モニター
075	[115bP_MO_100]	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

112XT

076	[112XT_FI]	112XT、フルレンジ、フィル
077	[112XT_FI_100]	112XT、HPF = 100 Hz、フィル
078	[112XT_FR]	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
079	[112XT_FR_100]	112XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
080	[112XT_MO]	112XT、フルレンジ、モニター
081	[112XT_MO_100]	112XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD112b

082	[112b_FI]	MTD112b、フルレンジ、フィル
083	[112b_FI_100]	MTD112b、HPF = 100 Hz、フィル
084	[112b_FR]	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
085	[112b_FR_100]	MTD112b、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
086	[112b_MO]	MTD112b、フルレンジ、モニター
087	[112b_MO_100]	MTD112b、HPF = 100 Hz、モニター

MTD108a

088	[108a_FI]	MTD108a、フルレンジ、フィル
089	[108a_FI_100]	MTD108a、HPF = 100 Hz、フィル
090	[108a_FR]	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
091	[108a_FR_100]	MTD108a、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
092	[108a_MO]	MTD108a、フルレンジ、モニター
093	[108a_MO_100]	MTD108a、HPF = 100 Hz、モニター

FLAT

094	[FLAT_LA4]	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	------------	----------------------------

LA4X プリセットライブラリー

LA4X オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 093 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4X プリセットライブラリー-6.3

K2

011	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
012	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
013	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

KUDO

014	KUDO50_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 50°設定
015	KUDO50_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 50°設定
016	KUDO50_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 50°設定
017	KUDO80_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 80°設定
018	KUDO80_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 80°設定
019	KUDO80_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 80°設定
020	KUDO110_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 110°設定
021	KUDO110_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 110°設定
022	KUDO110_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 110°設定

KARA

023	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
024	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
025	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み
026	KARADOWNK2	KARA、HPF = 100 Hz、K2 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み

KIVA II

027	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
028	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

029	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
030	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

031	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

KILOKIVA

032	KIVA_KILO	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-----------	--

ARCS_II

033	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

A15

034	A15	A15 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ
035	A15_FI	A15 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ、フィル

A10

036	A10	A10 Wide または A10 FOCUS、フルレンジ
037	A10_FI	A10 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ、フィル

ARCS_WF

038	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
039	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

KS21

040	KS21_60	KS21、LPF = 60 Hz
041	KS21_100	KS21、LPF = 100 Hz
042	KS21_60_C	KS21、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
043	KS21_100_C	KS21、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
044	KS21_60_Cx	KS21、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
045	KS21_100_Cx	KS21、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

046	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
047	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
048	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
049	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
050	SB18_60_Cx	SB18、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
051	SB18_100_Cx	SB18、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

052	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
053	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
054	SB15_100_Cx	SB15、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KILO

055	KILO	KILO、LPF = 100 Hz
-----	------	-------------------

SYVA

056	SYVA	SYVA、フルレンジ
-----	------	------------

SYVA_LOW

057	SYVA LOW_100	SYVA LOW (セパレート)、LPF = 100 Hz
-----	--------------	-------------------------------

SYVA+LOW

058	SYVA LOW SYVA	SYVA & SYVA LOW (近接)
-----	---------------	----------------------

SYVA_SUB

059	SYVA SUB_100	SYVA SUB、LPF = 100 Hz
060	[SYVA SUB_200]	SYVA SUB、LPF = 200 Hz、[X4]プリセットに最適化

X15HiQ

061	X15	X15 HiQ、フルレンジ
062	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

063	X12	X12、フルレンジ、
064	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

065	X8	X8、フルレンジ、
066	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

067	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
068	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
069	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
070	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
071	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
072	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

073	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
074	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
075	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
076	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
077	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
078	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

079	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
080	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
081	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
082	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
083	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
084	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

085	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
086	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
087	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
088	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
089	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
090	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

091	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

X4

092	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

FLAT

093	FLAT_LA4X	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	-----------	----------------------------

LA8 プリセットライブラリー

LA8 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 171 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA8 プリセットライブラリー6.3

K1

011	K1	K1、フルレンジ
-----	----	----------

K2

012	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

015	K1SB_60	K1-SB、LPF = 60 Hz、コンター構成に最適化
016	K1SB_X	K1-SB、LPF = 200 Hz、K1 との組み合わせによるスロー構成に最適化
017	K1SB_X K2	K1-SB、LPF = 200 Hz、K2 との組み合わせによるスロー構成に最適化

V-DOSC

018	V-DOSC_LO	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター
019	V-DOSC_LO_60	V-DOSC、HPF = 60 Hz、LO コンター
020	V-DOSC_LO_X	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター、[SB218_X]と[dV-S_X]に最適化
021	V-DOSC_HI	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター
022	V-DOSC_HI_60	V-DOSC、HPF = 60 Hz、HI コンター
023	V-DOSC_HI_X	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター、[SB218_X]と[dV-S_X]に最適化

KUDO

024	KUDO50_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 50°設定
025	KUDO50_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 50°設定
026	KUDO50_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 50°設定
027	KUDO80_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 80°設定
028	KUDO80_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 80°設定
029	KUDO80_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 80°設定
030	KUDO110_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 110°設定
031	KUDO110_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 110°設定
032	KUDO110_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 110°設定

KARA

033	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
034	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
035	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組み済み
036	KARADOWNK2	KARA、HPF = 100 Hz、K2 のダウンフィルとしてのディレイを組み済み

dV-DOSC

037	dV_FI	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、フィル
038	dV_LO	dV-DOSC、フルレンジ、LO コンター
039	dV_LO_100	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、LO コンター
040	dV_HI	dV-DOSC、フルレンジ、HI コンター
041	dV_HI_100	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、HI コンター

dV-D_dvs

042	dV_dV-S_LO	dV-DOSC と dV-SUB、クロスオーバー = 100 Hz、LO コンター
043	dV_dV-S_HI	dV-DOSC と dV-SUB、クロスオーバー = 100 Hz、HI コンター
044	dV_dV-S_LO60	dV-DOSC と dV-SUB、HPF = 60 Hz、クロスオーバー = 100 Hz、LO コンター
045	dV_dV-S_HI60	dV-DOSC と dV-SUB、HPF = 60 Hz、クロスオーバー = 100 Hz、HI コンター

dV-SUB

046	dV-S_60_100	dV-SUB、HPF = 60 Hz、LPF = 100 Hz
047	dV-S_100	dV-SUB、LPF = 100 Hz
048	dV-S_60_X	dV-SUB、HPF = 60 Hz、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_60]に最適化
049	dV-S_X	dV-SUB、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_X]に最適化

ARCS_II

050	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

ARCS

051	ARCS_LO	ARCS、フルレンジ、LO コンター
052	ARCS_LO_60	ARCS、HPF = 60 Hz、LO コンター
053	ARCS_LO_100	ARCS、HPF = 100 Hz、LO コンター
054	ARCS_HI	ARCS、フルレンジ、HI コンター
055	ARCS_HI_60	ARCS、HPF = 60 Hz、HI コンター
056	ARCS_HI_100	ARCS、HPF = 100 Hz、HI コンター

A15

057	A15	A15 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ
058	A15_FI	A15 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ、フィル

A10

059	A10	A10 Wide または A10 FOCUS、フルレンジ
060	A10_FI	A10 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ、フィル

ARCS_WF

061	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
062	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB28

063	SB28_60	SB28、LPF = 60 Hz
064	SB28_100	SB28、LPF = 100 Hz
065	SB28_60_C	SB28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
066	SB28_100_C	SB28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
067	SB28_60_Cx	SB28、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
068	SB28_100_Cx	SB28、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

069	KS21_60	KS21、LPF = 60 Hz
070	KS21_100	KS21、LPF = 100 Hz
071	KS21_60_C	KS21、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
072	KS21_100_C	KS21、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
073	KS21_60_Cx	KS21、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
074	KS21_100_Cx	KS21、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB218

075	SB218_60	SB218、LPF = 60 Hz
076	SB218_100	SB218、LPF = 100 Hz
077	SB218_X	SB218、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_X]に最適化

SB18

078	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
079	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
080	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
081	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
082	SB18_60_Cx	SB18、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
083	SB18_100_Cx	SB18、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB118

084	SB118_60	SB118、LPF = 60 Hz
085	SB118_100	SB118、LPF = 100 Hz
086	SB118_60_C	SB118、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
087	SB118_100_C	SB118、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

088	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
089	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
090	SB15_100_Cx	SB15、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KILO

091	KILO	KILO、LPF = 100 Hz
-----	------	-------------------

KIVA II

092	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
093	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

094	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
095	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

096	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

KILOKIVA

097	KIVA_KILO	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-----------	--

SYVA

098	SYVA	SYVA、フルレンジ
-----	------	------------

SYVA_LOW

099	SYVA LOW_100	SYVA LOW (セパレート)、LPF = 100 Hz
-----	--------------	-------------------------------

SYVA+LOW

100	SYVA LOW SYVA	SYVA & SYVA LOW (近接)
-----	---------------	----------------------

SYVA_SUB

101	SYVA SUB_100	SYVA SUB、LPF = 100 Hz
102	[SYVA SUB_200]	SYVA SUB、LPF = 200 Hz、[X4]プリセットに最適化

X15HiQ

103	X15	X15 HiQ、フルレンジ
104	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

105	X12	X12、フルレンジ、
106	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

107	X8	X8、フルレンジ、
108	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

109	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
110	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
111	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
112	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
113	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
114	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

115	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
116	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
117	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
118	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
119	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
120	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

121	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
122	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
123	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
124	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
125	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
126	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

127	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
128	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
129	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
130	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
131	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
132	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

133	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

X4

134	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

115XT

135	115XT_FI	115XT、フルレンジ、フィル
136	115XT_FI_100	115XT、HPF = 100 Hz、フィル
137	115XT_FR	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
138	115XT_FR_100	115XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
139	115XT_MO	115XT、フルレンジ、モニター
140	115XT_MO_100	115XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bA

141	115bA_FI	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フィル
142	115bA_FI_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
143	115bA_FR	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
144	115bA_FR_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
145	115bA_MO	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、モニター
146	115bA_MO_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bP

147	115bP_FI	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フィル
148	115bP_FI_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
149	115bP_FR	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
150	115bP_FR_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
151	115bP_MO	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、モニター
152	115bP_MO_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

112XT

153	112XT_FI	112XT、フルレンジ、フィル
154	112XT_FI_100	112XT、HPF = 100 Hz、フィル
155	112XT_FR	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
156	112XT_FR_100	112XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
157	112XT_MO	112XT、フルレンジ、モニター
158	112XT_MO_100	112XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD112b

159	112b_FI	MTD112b、フルレンジ、フィル
160	112b_FI_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フィル
161	112b_FR	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
162	112b_FR_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
163	112b_MO	MTD112b、フルレンジ、モニター
164	112b_MO_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、モニター

MTD108a

165	108a_FI	MTD108a、フルレンジ、フィル
166	108a_FI_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フィル
167	108a_FR	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
168	108a_FR_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
169	108a_MO	MTD108a、フルレンジ、モニター
170	108a_MO_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、モニター

FLAT

171	FLAT_LA8	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	----------	----------------------------

LA12Xプリセットライブラリー

LA12 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 098 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA12Xプリセットライブラリー6.3

K1

011	K1	K1、フルレンジ
-----	----	----------

K2

012	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

015	K1SB_60	K1-SB、LPF = 60 Hz、コンター構成に最適化
016	K1SB_X	K1-SB、LPF = 200 Hz、K1 との組み合わせによるスロー構成に最適化
017	K1SB_X K2	K1-SB、LPF = 200 Hz、K2 との組み合わせによるスロー構成に最適化

KARA

018	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
019	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
020	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み
021	KARADOWNK2	KARA、HPF = 100 Hz、K2 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み

ARCS_II

022	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

A15

023	A15	A15 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ
024	A15_FI	A15 Wide または A15 FOCUS、フルレンジ、フィル

A10

025	A10	A10 Wide または A10 FOCUS、フルレンジ
026	A10_FI	A10 Wide または A10 FOCUS、フルレンジ、フィル

ARCS_WF

027	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
028	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

KS28

029	KS28_60	KS28、LPF = 60 Hz
030	KS28_100	KS28、LPF = 100 Hz
031	KS28_60_C	KS28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
032	KS28_100_C	KS28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
033	KS28_60_Cx	KS28、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
034	KS28_100_Cx	KS28、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB28

035	SB28_60	SB28、LPF = 60 Hz
036	SB28_100	SB28、LPF = 100 Hz
037	SB28_60_C	SB28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
038	SB28_100_C	SB28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
039	SB28_60_Cx	SB28、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
040	SB28_100_Cx	SB28、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

041	KS21_60	KS21、LPF = 60 Hz
042	KS21_100	KS21、LPF = 100 Hz
043	KS21_60_C	KS21、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
044	KS21_100_C	KS21、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
045	KS21_60_Cx	KS21、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
046	KS21_100_Cx	KS21、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

047	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
048	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
049	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
050	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
051	SB18_60_Cx	SB18、LPF = 60 Hz、拡張カーディオイドパターン
052	SB18_100_Cx	SB18、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

053	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
054	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン
055	SB15_100_Cx	SB15、LPF = 100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KIVA II

056	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
057	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

058	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
059	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

060	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

SYVA

061	SYVA	SYVA、フルレンジ、フロントオブハウス
-----	------	----------------------

SYVA_LOW

062	SYVA LOW_100	SYVA LOW、LPF = 100 Hz
-----	--------------	-----------------------

SYVA+LOW

063	SYVA LOW SYVA	SYVA & SYVA LOW、フルレンジ、フロントオブハウス
-----	---------------	---------------------------------

SYVA_SUB

064	SYVA SUB_100	SYVA SUB、LPF = 100 Hz
065	[SYVA SUB_200]	SYVA SUB、LPF = 200 Hz、[X4]プリセットに最適化

X15HiQ

066	X15	X15 HiQ、フルレンジ
067	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

068	X12	X12、フルレンジ、
069	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

070	X8	X8、フルレンジ、
071	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

072	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
073	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
074	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
075	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
076	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
077	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

078	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
079	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
080	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
081	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
082	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
083	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

084	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
085	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
086	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
087	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
088	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
089	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

090	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
091	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
092	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
093	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
094	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
095	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

096	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

X4

097	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

FLAT

098	FLAT_LA12X	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	------------	----------------------------

フラットプリセット

 **フラットプリセットの出力チャンネルに接続したトランスデューサーは L-DRIVE で保護されません。**
FLAT プリセットで作用するリミットは「アンプ保護のためにクリップを最小化するものだけ」です。
サードパーティーのスピーカーエンクロージャーをドライブする場合は、スピーカーモデルに合わせたプリセットを持つ外部 DSP デバイスの併用を推奨します。

[FLAT_xxx]プリセットは、入力信号の周波数特性に変更を加えずに増幅し、ダイレクトに出力にルーティングします。なお、すべての出力パラメーターにアクセスできます。(ミュート、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ルーティング)

LA4 と LA4X の[FLAT]プリセットのヘッドルームは 6 dB、LA8 の[FLAT_LA8]プリセットのヘッドルームは 8 dB、LA12X の[FLAT_LA12X]プリセットのヘッドルームは 9.5 dB となります。

[FLAT_xxxx]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

 ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

可変曲率 WST システム プリセット

可変曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットはロングスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

K1



互換性の問題

プリセットライブラリー4.x の[K1][KARADOWNK1][K2 xxx]のプリセットは、バージョン 4.0 未満のプリセットライブラリーと互換性がありません。

古いプリセットを使っているセッションファイルから仕事を始めると互換性の問題が発生します。一つのラインソースの中では、すべてのユニットで同じバージョンのプリセットライブラリーを使ってください。

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K1 ラインソース	[K1]	-	-	35 Hz – 20 kHz
K1 / K1-SB ラインソース [K1-SB が上段]	[K1]	[K1SB_X]	-	低域スローイング強化
K1 ラインソース + 近接 K1-SB サブウーハー [横または後]	[K1]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去（側方偏極または後方カーディオイド）
K1 ラインソース + サブウーハー	[K1]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

*サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]または[xx28_60_Cx]を用います。



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

K2 エンクロージャーは[K2_110]でドライブします。

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK1]でドライブします。

[K1]と[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KARADOWNK1]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



K1 のダウンフィル用としてのアライメントディレイが組み込まれています。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます

K2

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K2 ラインソース	[K2 xxx]	-		35 Hz – 20 kHz 水平指向角調整可能
K2 / K1-SB ラインソース [K1-SB が上段]	[K2 xxx]	[K1SB_X K2]	-	低域スローイング強化
K2 ラインソース + 近接 K1-SB サブウーハー [上・横・後]	[K2 xxx]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去（側方偏極または後方カーディオイド）
K2 ラインソース + サブウーハー	[K2 xxx]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]または[xx28_60_Cx]を用います。

**K2 のフィン設定とプリセット**

K2 のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。

[K2 70] : 70°、[K2 90] : 90°、[K2 110] : 110°

詳細は K2 ユーザーマニュアルを参照してください。

**垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション**

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK2]でドライブします。

[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X K2]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



[K1SB_X K2] のヘッドルームは 10 dB です。

[KARADOWNK2]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



K2 のダウンフィル用としてのアライメントディレイが組み込まれています。[KARADOWNK2]のヘッドルームは 11 dB です。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます

Kara



KARA と KARAi は同じエンクロージャーのバージョン違いです。推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kara	KS28、SB28、SB18、KS21*	
ラインソース	[KARA]	-	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KARA]	[xxxx_100]	25 Hz まで拡張 (KS28 または SB28) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化
ラインソース + 離れたサブウーハー	[KARA]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コのエンクロージャー	[KARA_FI]	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。

[KARA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARA_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kiva II

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva II	SB15m*	SB18*	
ラインソース	[KIVA II]	-		70 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハ ー	[KIVA II]	[SB15_100]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 (SB18) 40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
最大で 3 台の エンクロージャー	[KIVA II_FI]	-		70 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
最大で 3 台の エンクロージャー + 近接サブウーハー	[KIVA II_FI]	[SB15_100]	-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]または[SB1x_xx_Cx]を用います。

[KIVA II]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA II_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kiva SB15m

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kiva	SB15m*	
ラインソース	[KIVA]	-	80 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KIVA_SB15]		40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[KIVA]	[SB15_100]	
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[KIVA_FI]	-	80 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
2 コのエンクロージャー + 近接サブウーハー	[KIVA_FI]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]または[SB15_100_Cx]を用います。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_SB15]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SB15m	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_SB15]はブリアライメントディレイが組み込まれています。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

Kiva Kilo

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva	Kilo	SB18*	
ラインソース	[KIVA]	-	-	80 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 Kilo	[KIVA_KILO]		-	50 Hz まで拡張
ラインソース + 近接した Kilo + SB18	[KIVA_KILO]		[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[KIVA_FI]	-		

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_100_C]または[SB18_100_Cx]を用います。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_KILO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
KILO	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_KILO]はブリアライメントディレイが組み込まれています。

[KILO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	Sb	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kudo

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kudo	KS28、SB28、SB18*	
ラインソース	[KUDOxx_25]		35 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_40]		40 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_60]		60 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[KUDOxx_40]	[xxx8_60]	25 Hz まで拡張 (KS28 と SB28) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。



KUDO のルーバーとプリセット
KUDO のルーバーに合わせて適合するプリセットを選んでください。
[KUDO50_xx] : 50°、[KUDO80_xx] : 80°、[KUDO110_xx] : 110°
詳細は KUDO ユーザーマニュアルを参照してください。

[KUDOxx_xx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

V-DOSC

スピーカー構成	プリセット				音響特性
	V-DOSC*	dV-SUB	KS28/SB28/ SB218**	dV-DOSC	
ラインソース	[V-DOSC_LO] または[V-DOSC_HI]	-	-	-	40 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 dV-SUB	[V-DOSC_xx_X]	[dV-S_X]	-	-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
ラインソース + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	-	[xx28_60]	-	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化
ラインソース + 近接 SB218	[V-DOSC_xx_X]	-	[SB218_X]	-	
ラインソース + 近接 dV-SUB + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	[sV-S_60_X]	[xx28_60]	-	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域リソースを追加
ラインソース + 近接 dV-DOSC	[V-DOSC_xx]	-	-	[dV_xx_100]	ダウンフィル カバレッジ

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]または[xx28_xx_Cx]を用います。(KS28 / SB28)

[V-DOSC_LO],[V-DOSC_HI],[V-DOSC_xx_60],[V-DOSC_xx_X]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[dV-S_X],[dV-S_60_X],[SB218_X]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

dV-DOSC

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	dV-DOSC*	dV-SUB	KS28, SB218 SB28, SB18 SB118 **	
ラインソース	[dV_LO] または [dV_HI]	-		65 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 dV-SUB	[dV_dV-S_xx]		-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[dV_xx_100]	[dV-S_100]		
ラインソース + 近接 SB	[dV_xx_100]	—	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218)
ラインソース + 近接 dV-SUB + 近接した SB	[dV_dV-S_xx60]		[xxxx_60]	
	[dV_xx_100]	[dV-S_60_100]		
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[dV_FI]	-	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。(KS28 / SB28 / SB18)

[dV_LO] [dV_HI] [dV_xx_60] [dV_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV-S_100] [dV-S_60_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[dV_dV-S_HI] [dV_dV-S_HI60] [dV_dV-S_LO] [dV_dV-S_LO60]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
dV-SUB	OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-SUB	OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC LF	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC HF	OUT 4	HF					ON



[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV_dV-S_xx]はプリアライメントディレイを含んでいます。

[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_60_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV-S_60_100]はプリアライメントディレイを含んでいます。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

定曲率 WST システム プリセット

定曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットは**ミディアムスロー**アプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

ARCS Wide / ARCS Focus

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS Wide / ARCS Focus	SB18*	
ラインソース	[ARCS_WIFO]	-	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + SB18m	[ARCS_WIFO]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[ARCS_WIFO_FI]	-	55 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体エンクロージャー + SB18m	[ARCS_WIFO_FI]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_60_C]または[SB18_60_Cx]を用います。

[ARCS_WIFO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[ARCS_WIFO_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

A10 Wide/Focus



A10 Wide/Focus と A10i Wide/Focus は同じエンクロージャーのバージョン違いです。ファクトリープリセットおよび推奨スピーカー構成は同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	A10 Wide/Focus	KS21*	
ラインソース	[A10]	-	67 Hz – 20 kHz
ラインソース + KS21	[A10]	[KS21_100]	31 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[A10_FI]	-	67 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体エンクロージャー + KS21	[A10_FI]	[KS21_100]	31 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KS21_100_C]または[KS21_100_Cx]を用います。

[A10]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[A10_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

A15 Wide/Focus



A15 Wide/Focus と A15i Wide/Focus は同じエンクロージャーのバージョン違いです。ファクトリープリセットおよび推奨スピーカー構成は同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	A15 Wide/Focus	KS21*	
ラインソース	[A15]	-	41 Hz – 20 kHz
ラインソース + KS21	[15]	[KS21_60]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[A15_FI]	-	41 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体エンクロージャー + KS21	[A15_FI]	[KS21_60]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KS21_60_C]または[KS21_60_Cx]を用います。

[A15]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[A15_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS II

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS II	KS28 / SB28*	
ラインソース	[ARCS II]	-	50 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[ARCS II]	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]をまたは[xx28_60_Cx]を用います。

[ARCS II]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS	SB18 / SB118 KS28 / SB28 / SB218	
ラインソース	[ARCS_LO]または[ARCS_HI]	-	50 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[ARCS_xx_60]	[xxxx_60]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218) 低域コンターを強化
ARCS ラインソース + 近接した SB	[ARCS_xx_100]	[xxxx_100]	

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。
** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。(SB18/KS28/SB28)

[ARCS_LO] [ARCS_HI] [ARCS_xx_60] [ARCS_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

コリニアソースシステム プリセット

コリニアソースエンクロージャー用のファクトリープリセットは**ミディアムスロー**アプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

Syva

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Syva	Syva Low	Syva Sub	
コリニアソース	[SYVA]	-	-	87 Hz – 20 kHz
コリニアソース + 近接 Syva Low	[SYVA LOW SYVA]		-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
コリニアソース + 離れた Syva Low	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	-	
コリニアソース + 近接 Syva Low + Syva Sub	[SYVA LOW SYVA]		[SYVA SUB_100]	27 Hz まで拡張 低域コンターを強化
コリニアソース + 離れた Syva Low + Syva Sub	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	[SYVA SUB_100]	



Syva システムはブリアライメントディレイ値が不要です。

[SYVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SYVA LOW SYVA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
Syva Low	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 2	PA					ON
Syva Low	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 4	PA					ON



Syva と Syva Low のハイブリッドプリセット

オートコネクトまたは Syva と Syva Low が 60 cm 以内の場合（音響的にカップリングされている）にのみ使用してください。

Syva と Syva Low が 60 cm 以上離れている場合は、LA Network Manager で[SYVA]と[SYVA LOW_100]を組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。



[SYVA SUB_100]は Syva / Syva Low と Syva Sub の音響的な結合を最適化するために極性が反転されています。



[SYVA SUB_200]を Syva と組み合わせない。

[SYVA SUB_200]は[X4]プリセットと君合わせて使用するために最適化されています。
[X4i](#) (p.47) を参照



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

同軸スピーカーエンクロージャー プリセット

同軸エンクロージャー用のファクトリープリセットはショートスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

X4i

X4i は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X4i	Syva Sub	
X4i	[X4]	-	120 Hz – 20 kHz
X4i + Syva Sub	[X4]	[SYVA SUB_200]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_100_C]を用います。

[X4]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

5XT

5XT は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	5XT	SB15m*	
5XT	[5XT]	-	95 Hz – 20 kHz
5XT + SB15m	[5XT]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を用います。

[5XT]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X8

X8 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X8	SB15m*	
X8	[X8]	-	60 Hz – 20 kHz
	[X8_MO]	-	55 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X8 + SB15m	[X8]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
	[X8_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンブリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンブリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

[X8] [X8_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X12

X12 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X12	SB15m/SB18/KS21*	
X12	[X12]	-	59 Hz – 20 kHz
	[X12_MO]	-	57 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X12 + サブウーハー	[X12]	[xxxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張(SB18) 低域コンターを強化
	[X12_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_100_C]または[xxxx_100_Cx]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせて使う場合、サブウーハーも低レイテンシーモードにしてください。これを実現するためには、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーハーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成します。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.66 ms。LA4X と LA12X は 3.00 ms。)

[X12] [X12_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X15 HiQ

X15 HiQ は同軸アクティブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X15 HiQ	SB18/KS21*	
X15 HiQ	[X15]	-	55 Hz – 20 kHz
	[X15_MO]	-	52 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X15 HiQ + SB18	[X15]	[SB18_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[X15_MO]		32 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_100_C]または[xxxx_100_Cx]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせて使う場合、サブウーハーも低レイテンシーモードにしてください。これを実現するためには、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーハーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成します。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.66 ms。LA4X と LA12X は 3.00 ms。)

[X15] [X15_MO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP は同軸パッシブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸パッシブエンクロージャー	プリセット
8XT	[8XT_xx]
12XT パッシブモード	[12XTP_xx]
MTD108a	[108a_xx]
MTD112b	[112b_xx]
MTD115b パッシブモード	[115bP_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	パッシブ xxx	SB15m, SB18 SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3 つのコンターから選択
同軸 + 近接サブウーハー	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 低域コンターを強化	

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]または[SBxx_100_Cx]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA は同軸アクティブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸アクティブエンクロージャー	プリセット
12XT (アクティブモード)	[12XTA_xx]
115XT HiQ	[HiQ_xx]
MTD115b (アクティブモード)	[115bA_xx]
115XT	[115XT_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	アクティブ xxx	SB18 または SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3つのコンターから選択
同軸 + 近接 SB	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化	

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

サブウーハーエンクロージャー プリセット

このセクションの表は、L-acoustics の汎用サブウーハーの構成と対応するファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである[SB15_100]と[SB15_100_C]のヘッドルームは、プリセットライブラリー5.6(.5)から 8 dB に変更しました。ハイブリットプリセット[KIVA_SB15]、または以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新した場合、同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

サブウーハー	可能なプリセット	最適な互換
KS28	[KS28_60]、[KS28_60_C] [KS28_60_Cx]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, ARCS, ARCS II
	[KS28_100]、[KS28_100_C] [KS28_100_Cx]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
SB28	[SB28_60]、[SB28_60_C] [SB28_60_Cx]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, ARCS, ARCS II
	[SB28_100]または[SB28_100_C]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
KS21	[KS21_60]、[KS21_60_C] [KS21_60_Cx]	A15 Wide/Focus, Kara
	[KS21_100]、[KS21_100_C] [KS21_100_Cx]	A10 Wide/Focus, X15 HiQ, X12, XT, Kara
SB18(i) SB18m	[SB18_60]、[SB18_60_C] [SB18_60_Cx]	Kudo, Kara, Kiva/Kilo, ARCS, ARCS Wide, ARCS Focus
	[SB18_100]、[SB18_100_C] [SB18_100_Cx]	Kara, ARCS, XT, X シリーズ, Kiva II
SB218	[SB218_60]	V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, ARCS
	[SB218_100]	dV-DOSC, 近接 ARCS
SB118	[SB118_60]、[SB118_60_C]	Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kiva/Kilo, ARCS
	[SB118_100]、[SB118_100_C]	dV-DOSC, ARCS, XT, 近接 MTD
SB15m	[SB15_100]、[SB15_100_C] [SB15_100_Cx]	近接 KIVA, 近接 KIVA II, XT, X12, X8
Syva Low	[SYVA LOW SYVA]	近接 Syva, 近接 Syva + Syva Sub
	[SYVA LOW_100]	Syva, Syva + Syva Sub
Syva Sub	[SYVA SUB_100]	Syva/Syva Low, 近接 Syva/Syva Low
	[SYVA SUB_200]	X4i

スピーカー構成 ¹	プリセット ²	音響特性
標準	[xxxx_60]または[xxxx_100]	25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) 27 Hz まで拡張 (Syva Low+Syva Sub) 29 Hz まで拡張 (KS21) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 40 Hz まで拡張 (SB15m, Syva Low)
カーディオイド	[xxxx_60_C]または[xxxx_100_C]	25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) 29 Hz まで拡張 (KS21) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 40 Hz まで拡張 (SB15m) カーディオイドパターン
	[xxxx_60_Cx]または[xxxx_100_Cx]	25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) 29 Hz まで拡張 (KS21) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 40 Hz まで拡張 (SB15m) カーディオイドパターン

[xxxx_60] [xxxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

¹ 構成ごとのキャビネット配列パターンはサブウーハーユーザーマニュアルを参照してください。

² SB28 と SB218 は LA8 または LA12X アンプリファイドコントローラーでドライブできます。KS28 は LA12X アンプリファイドコントローラーでドライブします。

[xxxx_60_C] [xxxx_100_C] [xxxx_60_Cx] [xxxx_100_Cx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR					ON
SB	OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

プリアライメントディレイ値



幾何学的な計測によるタイムアライメント

いくつかのスピーカースystemを組み合わせる場合には、音響的な合算を最適化するために、それらのディレイ値を調整することが重要です。音響測定ツールが無いケースでは、このセクションの表に示されたプリアライメントディレイ値を使用します。

プリアライメントディレイはエンクロージャーの前面が同一平面上の幾何学的に同じ場所に位置する状態で計測されています。

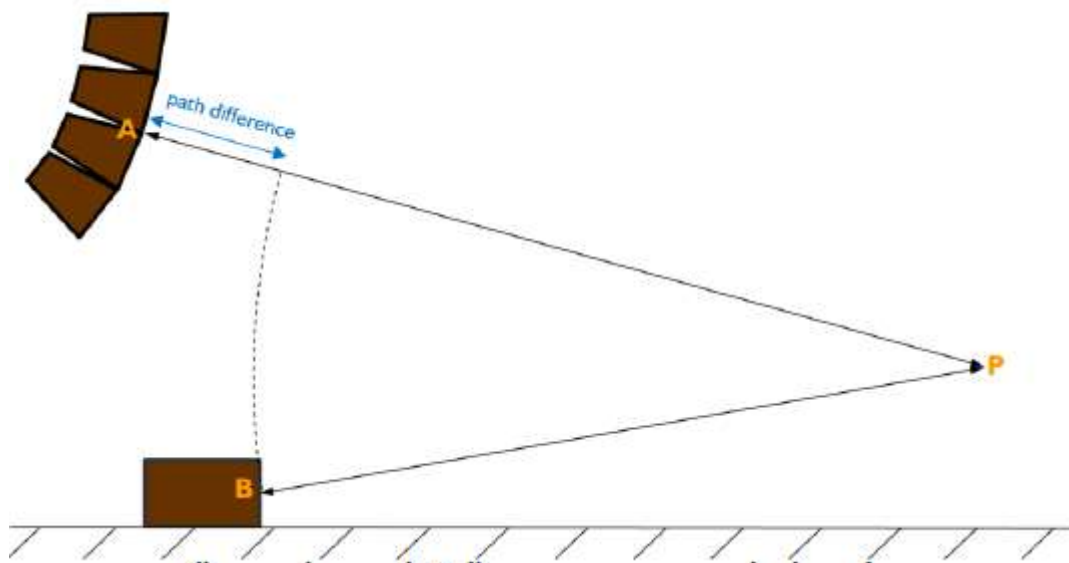
最初にファクトリープリセットにこれらの値を付加し、次にタイムアライメントとして最も到達距離が短いシステムに幾何学的なディレイを追加します。幾何学的なディレイは基準リスニングポイントと各システムとの到達距離差から算出します。



レーザーレンジファインダー（レーザー距離計）

L-acoustics の Tech Toolcase には距離計測に使用できる truPulse™200 と Leica DISTO™D3、2つのレーザーデバイスを含んでいます。

ラインソース + 離れたサブウーハー



手順

- PA - PB 間の到達距離差を計測する。
 - P : 基準となるリスニングポイント
 - A : リスニングポイントからの距離が遠いシステムの中心、システム a と名付けます。
 - B : リスニングポイントからの距離が近いシステムの中心、システム b と名付けます。
- 幾何学的なディレイを計算 (S) : 到達距離差 (m) / 音速 ($\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$)
 - 音速 $\approx 340 \text{ m}\cdot\text{s}^{-1}$ 20°C 空気が乾燥した状態
- このセクションの表から、システム a とシステム b を組み合わせる場合の「a のプリアライメントディレイ」と「b のプリアライメントディレイ」を読み取ります。
- それぞれのシステムのファクトリープリセットにアライメントディレイを加えます。さらに、基準リスニングポイントに近い「システム b」にのみ、幾何学的なディレイを加えます。
 - システム a のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ a** (ms)
 - システム b のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ b** (ms) + 幾何学的なディレイ (ms)

ノーマライズ : 上の値の差分を保ったまま、値の小さいほうが 0 になるように再計算し入力します。

可変曲率 WST システム

K1 + K1-SB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [K1SB_X]	K1 = 0 ms		K1-SB = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms	

K1 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [SB28_60]	K1 = 0.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [SB28_60_C]	K1 = 6 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [SB28_60_Cx]	K1 = 4 ms		SB28 = 0 ms	

K1 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [KS28_60]	K1 = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [KS28_60_C]	K1 = 6 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [KS28_60_Cx]	K1 = 4 ms		KS28 = 0 ms	

K1 + K1-SB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定					
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60]	K1 = 0 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_C]	K1 = 5.5 ms		K1-SB = 5.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_Cx]	K1 = 3.5 ms		K1-SB = 3.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 6 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0.5 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_Cx]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 4 ms	

K1 + K1-SB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60]	K1 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60_C]	K1 = 5.5 ms 	K1-SB = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60_Cx]	K1 = 3.5 ms 	K1-SB = 3.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K1 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 6 ms 
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K1 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0.5 ms 
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60_Cx]	K1 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 4 ms 

K2 + K1-SB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K2] + [K1SB_X K2]	K2 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 
[K2] + [K1SB_60]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 

K2 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K2] + [SB28_60]	K2 = 0.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [SB28_60_C]	K2 = 6 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [SB28_60_Cx]	K2 = 4 ms 	SB28 = 0 ms 

K2 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K2] + [KS28_60]	K2 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [KS28_60_C]	K2 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [KS28_60_Cx]	K2 = 4 ms 	KS28 = 0 ms 

K2 + K1-SB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60]	K2 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_C]	K2 = 5.5 ms 	K1-SB = 5.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_Cx]	K2 = 3.5 ms 	K1-SB = 3.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 6 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 0.5 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_Cx]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 4 ms 

K2 + K1-SB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60]	K2 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_C]	K2 = 5.5 ms 	K1-SB = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_Cx]	K2 = 3.5 ms 	K1-SB = 3.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 6 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0.5 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_Cx]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 4 ms 

Kudo + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KUDOxx_60] + [SB118_60]	Kudo = 0 ms 	SB118 = 3.5 ms 
[KUDOxx_60] + [SB118_60_C]	Kudo = 2 ms 	SB118 = 0 ms 

Kudo + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KUDOxx_60] + [SB18_60]	Kudo = 0 ms 	SB18 = 3.9 ms 
[KUDOxx_60] + [SB18_60_C]	Kudo = 1.6 ms 	SB18 = 0 ms 

Kudo + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KUD0xx_60] + [SB218_60]	Kudo = 0 ms		SB218 = 5 ms	

Kudo + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KUD0xx_60] + [SB28_60]	Kudo = 0 ms		SB28 = 5 ms	
[KUD0xx_60] + [SB28_60_C]	Kudo = 0.5 ms		SB28 = 0 ms	

Kudo + KB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KUD0xx_60] + [KS28_60]	Kudo = 0 ms		KS28 = 5 ms	
[KUD0xx_60] + [KS28_60_C]	Kudo = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	

Kara + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KARA] + [SB18_100]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA_FI] + [SB18_100]	Kara = 3 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100_C]	Kara = 5.5 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100_Cx]	Kara = 4 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA_FI] + [SB18_100_C]	Kara = 8.5 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA_FI] + [SB18_100_Cx]	Kara = 7 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_60]	Kara = 2.5 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_60_C]	Kara = 8 ms		SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_60_Cx]	Kara = 6.5 ms		SB18 = 0 ms	

Kara + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KARA] + [KS21_60]	Kara = 0.5 ms		KS21 = 0 ms	
[KARA] + [KS21_60_C]	Kara = 6 ms		KS21 = 0 ms	
[KARA] + [KS21_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		KS21 = 0 ms	
[KARA] + [KS21_100]	Kara = 0 ms		KS21 = 0.5 ms	
[KARA] + [KS21_100_C]	Kara = 5 ms		KS21 = 0 ms	
[KARA] + [KS21_100_Cx]	Kara = 4 ms		KS21 = 0 ms	
[KARA_FI] + [KS21_100]	Kara = 0 ms		KS21 = 2.5 ms	
[KARA_FI] + [KS21_100_C]	Kara = 3 ms		KS21 = 0 ms	
[KARA_FI] + [KS21_100_Cx]	Kara = 2 ms		KS21 = 0 ms	

Kara + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KARA] + [SB28_100]	Kara = 0 ms		SB28 = 1 ms	
[KARA] + [SB28_100_C]	Kara = 4.5 ms		SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_100_Cx]	Kara = 7.5 ms		SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_60]	Kara = 0 ms		SB28 = 5 ms	
[KARA] + [SB28_60_C]	Kara = 0.5 ms		SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_60_Cx]	Kara = 4.5 ms		SB28 = 0 ms	

Kara + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KARA] + [KS28_100]	Kara = 0 ms		KS28 = 1 ms	
[KARA] + [KS28_100_C]	Kara = 4.5 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [KS28_100_Cx]	Kara = 7.5 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [KS28_60]	Kara = 0 ms		KS28 = 5 ms	
[KARA] + [KS28_60_C]	Kara = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	

[KARA] + [KS28_60_Cx]	Kara = 4.5 ms		KS28 = 0 ms	
-----------------------	---------------	--	-------------	---

Kara + SB18 + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 5.5 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_C]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		SB18 = 5.5 ms		KS28 = 0 ms	

Kara + SB18 + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 5.5 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_C]	Kara = 0 ms		SB18 = 0 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		SB18 = 5.5 ms		KS28 = 0 ms	

Kara + KS21 + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60]	Kara = 0 ms		KS21 = 0.5 ms		KS28 = 5.5 ms	
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60_C]	Kara = 0 ms		KS21 = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		KS21 = 6 ms		KS28 = 0 ms	

Kara + KS21 + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定					
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60]	Kara = 0 ms		KS21 = 0 ms		KS28 = 5.5 ms	
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60_C]	Kara = 0 ms		KS21 = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms		KS21 = 6 ms		KS28 = 0 ms	

Kiva + Kilo

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定			
[KIVA] + [KILO]	Kiva = 0 ms		Kilo = 1.5 ms	

Kiva/Kilo + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KIVA_KILO] + [SB118_60]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB118 = 5.9 ms 
[KIVA_KILO] + [SB118_60_C]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB118 = 0.4 ms 

Kiva/Kilo + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KIVA_KILO] + [SB18_60]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB18 = 6.3 ms 
[KIVA_KILO] + [SB18_60_C]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB18 = 0.8 ms 

Kiva + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KIVA] + [SB15_100]	Kiva = 0 ms 	SB15m = 1.4 ms 
[KIVA] + [SB15_100_C]	Kiva = 2.4 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA_FI] + [SB15_100]	Kiva = 0 ms 	SB15m = 0.6 ms 

Kiva/SB15m + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KIVA_SB15] + [SB18_60]	Kiva/SB15m = 0 ms 	SB18 = 8.5 ms 
[KIVA_SB15] + [SB18_60_C]	Kiva/SB15m = 0 ms 	SB18 = 3 ms 

Kiva II + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA II] + [SB15_100]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_Cx]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100_Cx]	Kiva II = 5 ms 	SB15m = 0 ms 

Kiva II + SB15m + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 	SB18 = 1 ms 
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_C]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 5.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_Cx]	Kiva II = 1 ms 	SB15m = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 	SB18 = 3.5 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_C]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_Cx]	Kiva II = 3 ms 	SB15m = 0.5 ms 	SB18 = 0 ms 

V-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[V-DOSC_xx_X] + [SB218_X]	V-DOSC = 1.8 ms 	SB218 = 0 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms 	SB218 = 3.8 ms 

V-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms 	SB28 = 3.8 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.7 ms 	SB28 = 0 ms 

V-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60]	V-DOSC = 0 ms 	KS28 = 3.8 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.7 ms 	KS28 = 0 ms 

V-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_X] + [dV-S_X]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 

V-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 	SB218 = 3.7 ms 

V-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 	SB28 = 3.7 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.9 ms 	dV-SUB = 2 ms 	SB28 = 0 ms 

V-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60]	V-DOSC = 0 ms 	dV-SUB = 0.2 ms 	KS28 = 3.7 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.9 ms 	dV-SUB = 2 ms 	KS28 = 0 ms 

V-DOSC + dV-DOSC

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0 ms 	dV-DOSC = 0 ms 

V-DOSC + dV-DOSC downfill

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0 ms 	dV-DOSC = 0.04 ms 

dV-DOSC + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB118_100]	dV = 2.7 ms 	SB118 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB118_100_C]	dV = 8.3 ms 	SB118 = 0 ms 

dV-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB218_100]	dV = 0.8 ms 	SB218 = 0 ms 

dV-DOSC + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB18_100]	dV = 2.4 ms 	SB18 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB18_100_C]	dV = 8 ms 	SB18 = 0 ms 

dV-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB28_100]	dV = 0.8 ms 	SB28 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB28_100_C]	dV = 6.3 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [KS28_100]	dV = 0.8 ms 	SB28 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [KS28_100_C]	dV = 6.3 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [dV-S_100]	dV = 0 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB118 = 4 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60_C]	dV = 1.5 ms 	dV-SUB = 2.25 ms 	SB118 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB218_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB218 = 4.5 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB18_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB18 = 4.4 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB18_60_C]	dV = 1.1 ms 	dV-SUB = 1.85 ms 	SB18 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB28 = 4.5 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60_C]	dV = 1 ms 	dV-SUB = 1.75 ms 	S218 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [KS28_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB18 = 4.5 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [KS28_60_C]	dV = 1 ms 	dV-SUB = 1.75 ms 	SB18 = 0 ms 

定曲率 WST システム

ARCS + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB118_60]	ARCS = 0.8 ms 	SB118 = 0 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB118_60_C]	ARCS = 6.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB118_100]	ARCS = 1.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB118_100_C]	ARCS = 6.9 ms 	SB118 = 0 ms 

ARCS + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB18_60]	ARCS = 0.4 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB18_60_C]	ARCS = 5.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB18_100]	ARCS = 1.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB18_100_C]	ARCS = 6.6 ms 	SB18 = 0 ms 

ARCS + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB218_60]	ARCS = 0 ms 	SB218 = 0.9 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB218_100]	ARCS = 0 ms 	SB218 = 0.3 ms 

ARCS + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB28_60]	ARCS = 0 ms 	SB28 = 0.6 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB28_60_C]	ARCS = 4.9 ms 	SB28 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB28_100]	ARCS = 0 ms 	SB28 = 0.5 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB28_100_C]	ARCS = 5.0 ms 	SB28 = 0 ms 

ARCS + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [KS28_60]	ARCS = 0 ms 	KS28 = 0.6 ms 
[ARCS_xx_60] + [KS28_60_C]	ARCS = 4.9 ms 	KS28 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [KS28_100]	ARCS = 0 ms 	KS28 = 0.5 ms 
[ARCS_xx_100] + [KS28_100_C]	ARCS = 5.0 ms 	KS28 = 0 ms 

ARCS II+ SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_II] + [SB28_60]	ARCS II = 0 ms 	SB28 = 2 ms 
[ARCS_II] + [SB28_60_C]	ARCS II = 3.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[ARCS_II] + [SB28_60_Cx]	ARCS II = 7.5 ms 	SB28 = 0 ms 

ARCS II+ KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_II] + [KS28_60]	ARCS II = 0 ms 	KS28 = 2 ms 
[ARCS_II] + [KS28_60_C]	ARCS II = 3.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[ARCS_II] + [KS28_60_Cx]	ARCS II = 7.5 ms 	KS28 = 0 ms 

ARCS Wide/Focus + SB18m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60]	ARCS Wide/Focus = 1.5 ms 	SB18m = 0 ms 
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60_C]	ARCS Wide/Focus = 7 ms 	SB18m = 0 ms 
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60_Cx]	ARCS Wide/Focus = 6 ms 	SB18m = 0 ms 

A15 Wide/Focus + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60]	A15 Wide/Focus = 3.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60_C]	A15 Wide/Focus = 9 ms 	KS21 = 0 ms 
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60_Cx]	A15 Wide/Focus = 8 ms 	KS21 = 0 ms 

A10 Wide/Focus + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100]	A10 Wide/Focus = 0 ms 	KS21 = 0 ms 
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100_C]	A10 Wide/Focus = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100_Cx]	A10 Wide/Focus = 0 ms 	KS21 = 0 ms 

コリニアシステム



Syva システムはプリアライメントディレイ値が不要です。

同軸スピーカーエンクロージャー



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

X15 HiQ + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X15] + [SB18_100]	X15 HiQ = 4 ms	SB18 = 0 ms
[X15_MO] + [SB18_100]	X15 HiQ = 0 ms	SB18 = 1 ms

X15 HiQ + KS21

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X15] + [KS21_100]	X15 HiQ = 0 ms	KS21 = 1.5 ms
[X15_MO] + [KS21_100]	X15 HiQ = 0 ms	KS21 = 1.5 ms

X12 + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X12] + [SB15_100]	X12 = 1.5 ms	SB15m = 0 ms
[X12_MO] + [SB15_100]	X12 = 0 ms	SB15m = 3 ms

X12 + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X12] + [SB18_100]	X12 = 0 ms	SB18 = 0 ms
[X12_MO] + [SB18_100]	X12 = 0 ms	SB18 = 0 ms

X12 + KS21

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X12] + [KS21_100]	X12 = 0 ms	KS21 = 1 ms
[X12_MO] + [KS21_100]	X12 = 0 ms	KS21 = 1 ms

X8 + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X8] + [SB15_100]	X8 = 2 ms 	SB15m = 0 ms 
[X8_MO] + [SB15_100]	X8 = 0 ms 	SB15m = 3 ms 

X4i + Syva Sub

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X4] + [SYVA SUB_200]	X4i = 0 ms 	Syva Sub = 0.5 ms 

115XT HiQ + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 

115XT HiQ + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 

115XT HiQ + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms 	dV-SUB = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms 	dV-SUB = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.5 ms 	dV-SUB = 0 ms 

アクティブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTA_FI_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTA_FR_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTA_MO_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 

アクティブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTA_FI_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTA_FR_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTA_MO_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 

パッシブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTP_FI_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTP_FR_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTP_MO_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 

パッシブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTP_FI_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTP_FR_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTP_MO_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 

8XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[8XT_FI_100] + [SB118_100]	8XT = 3.1 ms 	SB118 = 0 ms 
[8XT_FR_100] + [SB118_100]	8XT = 3.2 ms 	SB118 = 0 ms 
[8XT_MO_100] + [SB118_100]	8XT = 3.0 ms 	SB118 = 0 ms 

8XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[8XT_FI_100] + [SB18_100]	8XT = 2.8 ms 	SB18 = 0 ms 
[8XT_FR_100] + [SB18_100]	8XT = 2.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[8XT_MO_100] + [SB18_100]	8XT = 2.7 ms 	SB18 = 0 ms 

5XT + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[5XT] + [SB15_100]	5XT = 0 ms 	SB15m = 0 ms 

115XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115XT_FI_100] + [SB118_100]	115XT = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[115XT_FR_100] + [SB118_100]	115XT = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[115XT_MO_100] + [SB118_100]	115XT = 2.9 ms 	SB118 = 0 ms 

115XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115XT_FI_100] + [SB18_100]	115XT = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[115XT_FR_100] + [SB18_100]	115XT = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[115XT_MO_100] + [SB18_100]	115XT = 2.6 ms 	SB18 = 0 ms 

アクティブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115bA_FI_100] + [SB118_100]	115bA = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bA_FR_100] + [SB118_100]	115bA = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bA_MO_100] + [SB118_100]	115bA = 2.7 ms 	SB118 = 0 ms 

アクティブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[115bA_FI_100] + [SB18_100]	115bA = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bA_FR_100] + [SB18_100]	115bA = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bA_MO_100] + [SB18_100]	115bA = 2.4 ms 	SB18 = 0 ms 

パッシブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[115bP_FI_100] + [SB118_100]	115bP = 2.1 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bP_FR_100] + [SB118_100]	115bP = 2.2 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bP_MO_100] + [SB118_100]	115bP = 2.8 ms 	SB118 = 0 ms 

パッシブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[115bP_FI_100] + [SB18_100]	115bP = 1.8 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bP_FR_100] + [SB18_100]	115bP = 1.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bP_MO_100] + [SB18_100]	115bP = 2.5 ms 	SB18 = 0 ms 

112XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[112XT_FI_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[112XT_FR_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[112XT_MO_100] + [SB118_100]	112XT = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 

112XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[112XT_FI_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112XT_FR_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112XT_MO_100] + [SB18_100]	112XT = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 

MTD112b + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[112b_FI_100] + [SB118_100]	112b = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[112b_FR_100] + [SB118_100]	112b = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[112b_MO_100] + [SB118_100]	112b = 3.0 ms 	SB118 = 0 ms 

MTD112b + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[112b_FI_100] + [SB18_100]	112b = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[112b_FR_100] + [SB18_100]	112b = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112b_MO_100] + [SB18_100]	112b = 2.7 ms 	SB18 = 0 ms 

MTD108a + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[108a_FI_100] + [SB118_100]	108a = 3.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[108a_FR_100] + [SB118_100]	108a = 3.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[108a_MO_100] + [SB118_100]	108a = 4.0 ms 	SB118 = 0 ms 

MTD108a + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[108a_FI_100] + [SB18_100]	108a = 3.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[108a_FR_100] + [SB18_100]	108a = 3.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[108a_MO_100] + [SB18_100]	108a = 3.7 ms 	SB18 = 0 ms 

負荷インピーダンス

以下のモデルを除くエンクロージャーの公称インピーダンスは 8 Ω です。

- 16 Ω :
 - K2 (HF セクション)、KIVA II、V-DOSC (HF セクション)、5XT、X4i
- 4 Ω :
 - SB28、KS28、Syva Low、K1-SB

総インピーダンス

ノミナル	エンクロージャー数 / 並列接続セクション				
	2	3	4	5	6
16 Ω	8 Ω	5.3 Ω	4 Ω	3.2 Ω	2.7 Ω
8 Ω	4 Ω	2.7 Ω	---	---	---



4 オームのエンクロージャーはパラレル接続できません。

各アンプリファイドコントローラーにおける総数や、エンクロージャー数 / 並列接続セクションは、[アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力](#) (p.78) を参照してください。

アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力



出力のミュート、全体的なアッテネーション、オーディオ品質のロスリスク

出力チャンネルごとに接続可能なエンクロージャー数、およびアンプリファイドコントローラーに対する総数の最大を超えてはいけません。規定を上回る状態で使用するとアンプリファイドコントローラーの保護が作動する可能性があります。

	LA4X 出力ごと* / 総数	LA8 出力ごと* / 総数	LA12X 出力ごと* / 総数
同軸エンクロージャー			
X4i	4 / 16	6 / 24	6 / 24
5XT	4 / 16	6 / 24	6 / 24
X8	2 / 8	3 / 8 ^a	3 / 12
X12	1 / 4	2 / 8	3 / 12
X15 HiQ	1 / 2	2 / 4	3 / 6
8XT	2 / 8	3 / 12	3 / 12
アクティブ 12XT	2 / 4	3 / 6	3 / 6
パッシブ 12XT	1 / 4	2 / 8	3 / 12
112XT	2 / 4	3 / 6	3 / 6
115XT HiQ	1 / 2	2 / 4	3 / 6
115XT	1 / 2	2 / 4	3 / 6
MTD108a	2 / 8	3 / 12	3 / 12
MTD112b	1 / 4	2 / 8	2 / 8
アクティブ MTD115b	1 / 2	2 / 4	2 / 4
パッシブ MTD115b	1 / 4	2 / 8	2 / 8
コリニアソース			
Syva	1 / 4	2 / 8	3 / 12
定曲率 WST エンクロージャー			
ARCS Wide/Focus	1 / 4	2 / 8	2 / 8
A10 Wide/Focus	1 / 4	2 / 8	3 / 12
A15 Wide/Focus	1 / 4	2 / 8	3 / 12
ARCS II	1 / 2	2 / 4	3 / 6
ARCS	1 / 2	3 / 6	3 / 6
可変曲率 WST エンクロージャー			
K1	---	2 / 2	2 / 2
K1-SB	---	1 / 4	1 / 4
K2	1 / 1	3 / 3	3 / 3
Kara	2 / 4	3 / 6	3 / 6
Kiva II	2 / 8	4 / 16	6 / 24
Kiva / Kilo	2 / 8	3 / 12	3 / 12

^a LA8 は 1 出力あたり最大 3 コの X8 をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 8 コの X8 のドライブとします。

	LA4X 出力ごと* / 総数	LA8 出力ごと* / 総数	LA12X 出力ごと* / 総数
Kudo	1 / 1	3 / 3	3 / 3
V-DOSC	---	2 / 2	2 / 2
dV-DOSC	---	3 / 6	3 / 6
KS28	---	---	1 / 4
SB28	---	1 / 4	1 / 4
KS21	1 / 4	2 / 6 ^b	2 / 8
SB18	1 / 4	2 / 8	3 / 12
SB218	---	1 / 4	1 / 4
SB118	1 / 4	2 / 8	2 / 8
SB15m	1 / 4	2 / 6 ^c	3 / 12
Syva Low	1 / 4	1 / 4	2 / 6 ^d
Syva Sub	1 / 4	2 / 8	3 / 12
dV-SUB	---	1 / 4	1 / 4

LA4 については [LA4 のエンクロージャードライブ能力](#) (p.80) をご覧ください。

b LA8 は 1 出力あたり最大 2 コの KS28 をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コの KS21 のドライブとします。

c LA8 は 1 出力あたり最大 2 コの SB15m をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コの SB15m のドライブとします。

d LA12X は 1 出力あたり最大 2 コの Syva Low をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コの Syva Low のドライブとします。

* パッシブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続エンクロージャ数に対応します。アクティブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続セクション数に対応します。

LA4 のエンクロージャードライブ能力



出力のミュート、全体的なアッテネーション、オーディオ品質のロスリスク

出力チャンネルごとに接続可能なエンクロージャー数、およびアンプリファイドコントローラーに対する総数の最大を超えてはいけません。規定を上回る状態で使用するとアンプリファイドコントローラーの保護が作動する可能性があります。

	出力ごと* / 総数
同軸エンクロージャー	
X4i	4 / 16
5XT	3 / 12
8XT	2 / 8
アクティブ 12XT	2 / 4
パッシブ 12XT	1 / 4
112XT	2 / 4
115XT HiQ	1 / 2
115XT	1 / 2
MTD108a	2 / 8
MTD112b	1 / 4
アクティブ MTD115b	1 / 2
パッシブ MTD115b	1 / 4
定曲率 WST エンクロージャー	
ARCS Wide/Focus	1 / 4
ARCS	1 / 2
可変曲率エンクロージャー	
Kiva / Kilo	2 / 8
サブウーハーエンクロージャー	
SB18	1 / 4
SB118	1 / 4
SB15m	1 / 4
Syva Sub	1 / 4

* パッシブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続エンクロージャー数に対応します。アクティブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続セクション数に対応します。



L-Acoustics

13 rue Levacher Cintrat - 91460 Marcoussis - France
+33 1 69 63 69 63 - info@l-acoustics.com
www.l-acoustics.com



 **L-ACOUSTICS**
GROUP